

元気で活力あるまちに

合併後2度目となった市長選挙は、可知義明氏が無投票で当選。これからの4年間、引き続き市政を担当することになりました。11月28日の初登庁では、職員に「市民の幸せと市政の発展のため、一緒にまちづくりを進めましょう」と話し、可知市政の二期目がスタートしました。

可知市長の信条は「安心して住みつけられるまち」「合併してよかったと思えるまち」。その内容と二期目に向けての抱負などを聞きました。聞き手は、(株)アミックスコムのアナウンサーで、長島町在住の小栗和恵さんです。

企業誘致や農林業活性化を

小栗 市長さん、二期目の当選おめでとうございます。今回、無投票で再選が決まったということは、合併後、一期目の市政が、大きく評価されたということだと思いますが、二期目を振り返られていかがですか。

市長 平成16年10月25日に、6つの市町村が合併して、それぞれのまちの歴史や文化、価値観の違いというところもあって、市として統一していくのは大変難しいと思いました。そして、「合併後の一体感をどのように作っていくか」さらに「特色を生かしたまちづくりを進めていきたい」ということで、取り組んでまいりました。おかげをもちまして、市



インタビューのアミックスコム小栗さん（左）と可知市長

民の皆さんのご協力をいただき、観光協会や文化振興会などの統合で体制ができて、基盤づくりも順調に進んできたと思っています。

小栗 その基盤の上に立って、これから迎える二期目について、市長さんの抱負を聞かせてください。

市長 市民の皆さんとともに築いた基盤です。この基盤の上に立って、恵那らしいまちづくりをしていきたい。とりわけ、元気で活力あるまち」を築いていきたいと思っています。

小栗 「元気で活力あるまちづくり」とは、具体的にはどのようなことでしょうか。

市長 特に私は4年間、中学生との語る会をやってきましたけども「恵那のまちはいい所で、住み続けたい

と思うけれども、やっぱり働く場所がない」ということを、中学生から言われています。

やはり、優良な企業の誘致、あるいはこれからは、農林業を大切にしなければいけないと思います。農林業の自給率を高めるような、いわゆる産業の活性化を図ることが大事。そのためには道路網の整備や、まちづくりを、きちんと進める必要があります。

そしてさらに交流人口の拡大を掲げています。市には素晴らしい自然や、観光資源が多くあります。これらを生かし、交流人口の拡大を図っていくことも、「元気で活力のあるまちづくり」につながると思います。

2025年には、東濃地域にリア新幹線が開業されます。市にとっても大きなチャンスと捉えていますので、今からこのチャンスを生かすための条件整備、とりわけ道路のアクセスだとか、仮に駅ができるとしたら、その駅にふさわしい環境づくりをしたいと思っています。

小栗 合併して広くなった市の道路が整備されるということは、メリットがすごく増えてきますよね。

市長 今、地方の道路の在り方が国で問われています。恵那のような地域の広い所、特にこれから農林業の活性化や、人口が減ってくることに

対する地域の活性化を行っていくためにも、やはり道路は必要。何としても、道路網の整備はしていきたいと思っています。

私は一期目から「市街中心地から各地域の中心地まで、30分で行き来できる30分構想」というのを作っています。これを二期目も、しっかりとやっていきたいと思っています。

小栗 30分というのはとても便利なので、ぜひ実現してほしいです。

健康を保てる仕組みづくり

小栗 市長さんは今の話と合わせ

で、5つの政策の柱を提案されると聞いていますが、2つ目に「健康で安心して暮らせるまちづくり」についてお話をいただけますか。

市長 これからはやはり健康が大事だと思います。健康は、一人一人が健康意識を持たなければならぬ。健康を保てる仕組みを、作っていき

たいと思っています。それには病院とか診療所の連携を深めること、さらに子育て支援の充実、高齢者あるいは乳幼児などが、安全に暮らせる環境づくりも必要だと思っています。また市民の皆さん

から大きな期待のあります産婦人科の開設も、ぜひ心掛けていかなければならないと思っています。

小栗 そうですね。それが市長さんの言われる「安心して住みつけられるまちづくり」につながるわけですね。

住宅用太陽光発電に助成

小栗 3点目の「安全で環境に優しい美しいまちづくり」これについてはいかがですか。

市長 やはり、安全・安心が一番大切。自主防災隊の組織化を進め、防災意識の向上を進めたいですね。

また、ごみ処理施設やし尿処理施設が、それぞれ2つあります。これは効率的に良くなり、環境的にも優しくないということで、これを一元化していきたいと思っています。

それからバイオマス構想。いわゆる化石燃料だけでなく、バイオマス資源を活用していく。そういうことも、これから考えていかなければならないと思っています。

そして太陽光発電を住宅に利用される場合は、来年度から助成をしていきたい。クリーンエネルギーを使っていくような、そういう施策も考えていく必要があります。

さらに訪れる方に、ごみのあるよくなまちは、あまり好まれないです



おぐり かずえ
小栗 和恵さん

平成18年から㈱アミックスコムに勤務。
自主制作の番組でのナレーションや、音
声告知器の放送などを担当。
長島町中野・29歳



かち よしあき
可知 義明市長

昭和30年から恵那市役所に勤務し、総務
部長、助役を歴任。平成16年11月合併後
初の選挙で初当選し市長に就任。
大井町・72歳

よね。ポイ捨てや不法投棄をしな
い、ごみのないきれいなまちを作っ
ていきたいと思っています。

小栗 本場に自然が多いこの恵那の
まちを、次の世代へとつなげていき
たいと切に思います。

生涯学習のまちづくりを

小栗 多くの歴史や伝えていきたい
文化が、恵那にはありますが、4点
目の「歴史や文化を大切にしたい生
涯にわたって学ぶことが楽しいまち
づくり」これについて教えてください。

市長 各地域に、素晴らしい歴史や
文化があります。この貴重な歴史や
文化をぜひまちづくりに生かして、
そしてさらに後世に残していきたい
。これが私の願いでもあります。
大人も子どもも高齢者も、市民の

皆さんが「生涯にわたって学ぶこと
が楽しい」そういうまちづくりを進
めていきたいと思っています。

一昨年、素晴らしい図書館を寄贈
していただきましたので、その図書
館を中心にして、佐藤一斎翁が残さ
れた教訓、いわゆる三学戒を基にし
た生涯学習のまちづくりを、ぜひ進
めたいと思っています。

行革で財政基盤を確立

小栗 5つ目の施策「健全で自立し
うる行財政基盤の確立をめざすまち
づくり」はいかがでしょうか。

市長 行財政改革を平成18年から進
めてきましたが、やはり、しっか
りした基盤がないと、もし市が破た
んするようなことになると、市民の
皆さんに大変迷惑をかけることにな

市民の目線で考え対話する

小栗 市長選は、無投票という最高
の結果で迎えたということ。

市長 無投票は最高の結果とは思え
ません。前の選挙の時は、まだ市長
ではなかったですから、3カ月ぐら
いの選挙活動で、市民の皆さんとい
ろんな話ができました。

それらの経験が、一期目の仕事に
かかわっている時、どうしていくか
を考えると、随分勉強に
なりました。今までは行政の立場の
役所勤めが長くて、そういうことが
できませんでした。

やはり多くの意見を聞いて、また
自分の意思を相手に伝えて、お互い
理解してもらう。それが大事だと思
います。私が常々言っている「市民

の目線で考えて、対話によってまち
づくりを進めていく」これは選挙で
培われたもの。選挙が無かったらで
きなかつたと思います。行政とは市
民に「やってあげる」ではないので
す。私にとってはいい教訓でした。

若い人に魅力のあるまちに

小栗 わたしはこうして恵那で働け
るという環境ですが、友人の多くは
やはり恵那を離れて働いているとい
うのが現状です。若者が恵那にいな
いというか、若者が離れていくとい
うことに対して、市長さんはどのよ
うにお考えでしょうか。

市長 本場に、それが一番残念で
す。先ほど話しましたが、中学生
との話しもそうですし、やはり働く
場所が必要です。

ります。ですから、徹底的な行革を
行って、財政基盤を確立していく必
要があると思います。

今後も行革をしつかり進めて、さ
らに職員で意識を高めて、これから
地方分権が進められてきますので、
それを受け入れる体制もしつかり
作ってまいります。

小栗 市長さんの話を聞いて、一期
目の基盤の上に、これからまちづく
りを進めていくということが、よく
分かりました。

光の情報網を活用してほしい

小栗 わたしはアミックスコムに勤
めています。この1年間で武並町
や三郷町、岩村町、明智町、上矢作
町が、ケーブルテレビの視聴ができ
るエリアになって、加入世帯も増え

もうひとつは若い人たちに魅力あ
るまちが必要。私はどのようなこと
が魅力というのは難しいですけど、
やはり買物物ができたり、おいしい
食べ物があったりとか、そういうこ
とじゃないかなと思います。今、大
崎地区にいるんなお店が出来てきて
にぎわっています。それは大いに
プラスになってきたんじゃないかな
と思っています。

多くの観光地を生かしたい

小栗 先日、友達が遊びに来て、紅
葉の恵那峡や、栗のお菓子を楽しん
で、秋を満喫し帰っていききました。
恵那には自慢できるすてきな場所が
多くあります。市長さんの考えられ
る観光について、教えてください。

市長 観光地は恵那峡、大井宿、坂

ました。11月には市議会議員選挙の
中継をするなど、いろいろな活動を
しています。市長さんはケーブルテ
レビに対して、どのように考えてお
られますか。

市長 私は全世帯に、ケーブルテレ
ビを引いていただきたいと思ってい
ます。市の多くの費用を掛けてせつ
かく光による情報網を構築できまし
たので、ケーブルテレビを見て、情
報の共有をしていただきたい。
そのためにはやはり、魅力のある
番組が必要です。えなっコチャンネ
ルが見たいからアミックスコムにし
ようというようになれば、加入者も
増えてくると思います。皆さんが見
たいと思う番組を、制作していただ
くことも必要だと思います。

小栗 いい番組をたくさん作って、
皆さんに見ていただくと、いいな
と思っています。

市長 でも、市議会議員の選挙の放
送、あれは良かったです。皆さん
は、喜んでくれたと思います。

小栗 遅くまで、市役所の皆さんが
頑張っている様子が伝わりました。

市長 選挙の開票は、普通どうやっ
ているのか市民の皆さんは知らない
ので、良かったと思います。

もし市長選があつたら、もっと盛
り上がったかもしれないけど、無投
票になってしまいました残念です。

折棚田、岩村の町並み、日本一の農
村風景、岩村城跡、大正村など多く
あります。こんなに多くある市は、
あまりないと思います。それをいか
に、生かしていくことです。
わたしも一期目の時に「もう舞台
は出来るとんだと。そこで演技をし
る者がいない。皆さんで演技してい
こう」という話をしました。その演
技が、まだ足りないということと思
います。

ただ、岩村の町並みのように、そ
こで多くの人が生活しているところ
がいい、そうしたたすまいがいい
と言われていきます。観光地化するよ
うに新しく整備するのではなく、今
の形でたすまいを残しながら、安ら
ぎを覚えていただけるような、まち
づくりが必要だとも思っています。

共にまちづくりを進めたい

小栗 最後に、市民の皆さんへ一言
メッセージをお願いしますか。

市長 二期目がスタートしました。
これからまた、素晴らしい市を皆さ
んと共につくっていききたいと思っ
ています。

ぜひ皆さんが新しい、明るい気持
ちを持ってもらって、行政と共にま
ちづくりを進めていただければ、あ
りがたいと思います。どうかご支援
をいただきたいと思います。